昭和24年12月27日第3種郵便物認可

日刊（土・日・祝日除く）　©産業新聞社2020年

日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2020年（令和2年）
11月24日（火）
第20083号
Since1936

いつでもどこでも
日刊産業新聞DIGITAL
PC・スマホ・タブレットで産業新聞をまるごと読めや
まずは2週間の無料試読から
https://www.japanmetal.com/pre-order

発行所　産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1−16−14
TEL 03(5566)8770代　FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区阿波座1−3−15
TEL 06(7733)7001代　FAX 06(7733)7070
アジア総局 上海市豊山関路85号 東方国際大厦C座1604室
上海支局 TEL 86-21-6278-7750　FAX 86-21-6278-7751

橋梁用CT形鋼
（SMA400AW.SS400）
CHIKUMA KOZAI CO.,LTD.
千曲鋼材株式会社
本　社 浦安市入船1-5-2　プライムタワー新浦安15F
☎(047)354-5721㈹FAX(047)352-7084
URL http://www.chikuma-kozai.co.jp/

金属リサイクル 未来への展望

上場大手各社首脳座談会 4

「論語と算盤」の両輪が必要

SDGsで新しい価値観

高橋 克実氏
（イボキン社長）

吉野 佳秀氏
（ベステラ会長）

鈴木「中国は環境問題について本格的に取り組み始めている。数年前に彼らは欧州最大手のスクラップ業者を買収した。つまり高い処理技術を手にしたってこと。良い面悪い面あるが、国内循環を推進するのは歓迎すべきことだね。ちなみに現在の日本の鉄スクラップ輸出量は800万ぐらいだけど、これは段々減っていく。国内使用が増えるから。二酸化炭素を発生させないように、おそらく高炉メーカーも電炉を作って原料として鉄スクラップを使用することが始まる。基本的にはあるが、国内循環を推進するのは歓迎すべきことだね。ちなみに現在の日本の鉄スクラップ輸出量は800万ぐらいだけど、これは段々減っていく。国内使用が増えるから。二酸化炭素を発生させないように、おそらく高炉メーカーも電炉を作って原料として鉄スクラップを使用することが始まる。基本的には日本で発生したものを日本で循環させていくのはわれらの商売として望ましい」

高橋「日本は粗鋼生産量に占める電炉比率が25%、アメリカは70%、EUが40%ですよね。そのうち日本もEUくらいの水準は行くんじゃないでしょうか」

鈴木「同感。でもそのためには高級なものを作らないと。薄板と